

令和6年度事業の状況

1、事業の状況

(1) 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- ① 保存地区内における現状変更行為申請書の受付事務及び毎月定例的に統制委員会を開き、次に示す現状変更申請事項の審議を行った。

4月22日・審議事項

携帯無線基地局新設工事	1件	
防護柵の設置	1件	
竹林整備	1件	計 3件

5月20日・審議事項

仮設事務所設置等	1件	
流失路面埋め戻し等	1件	
群状択伐	6件	
雨樋・破風板補修工事	1件	
自販機設置	1件	計 10件

6月20日・審議事項

樹木伐採	1件	
開閉器の取替	1件	
観測井及びモノレール設置	1件	
引込線新設	1件	
外壁塗装	1件	
電柱建替え工事	1件	
排水側溝新設・撤去等	1件	
群状択伐	5件	
立木伐採	1件	計 13件

7月22日・審議事項

道路法面立木伐採及び枝払い	1件	
配電線設備の保安伐採	2件	
引込線撤去	1件	
仮設電源用電線設置（変更）	1件	
群状択伐	5件	計 10件

8月20日・審議事項

室外機新設	1件	
群状択伐	4件	

	通信ケーブル架設作業	1 件	
	電線移設工事	1 件	計 7 件
9 月 20 日・審議事項			
	屋根瓦（卯建）付け直し	1 件	
	仮設備設置（変更）	1 件	
	電線移設工事	1 件	
	電線・開閉器移設工事	1 件	
	群状択伐	4 件	
	土蔵壁面左官工事	1 件	
	汚水ポンプ更新工事ほか	1 件	
	樹木伐採	1 件	計 11 件
10 月 21 日・審議事項			
	簡易水道配水管・給水管布設		
	及び消火栓設置工事	1 件	
	電話柱の新設	1 件	
	群状択伐	1 件	
	防犯灯修繕	1 件	
	支障木伐採	1 件	
	耐候性シートの設置（変更）	1 件	計 6 件
11 月 20 日・審議事項			
	支障木伐採	1 件	
	引込線撤去工事	3 件	
	携帯電話基地局付属設備撤去、		
	移設及び新設	1 件	
	玄関前・土間の補修		
	隙間塞ぎ板の取替	1 件	計 6 件
12 月 20 日・審議事項			
	小屋除却	1 件	
	防護管取付	1 件	
	引込線撤去	1 件	
	水位観測井戸埋戻し及び現状復旧	1 件	
	引込線移設工事	1 件	
	蘭川堆積土除却及び護岸修繕事業	1 件	計 6 件
1 月 20 日・審議事項			
	鉄塔塗装の一部補修	1 件	
	看板除却	1 件	
	電気引込線張替工事	1 件	計 3 件

2月20日・審議事項

引込線新設工事	1件	
引込線撤去工事	1件	
防護管撤去	1件	
送電線の補修	1件	
地下水変動の観測管設置（変更）	1件	
大気観測機器等設置	1件	
電線移設工事	1件	
破風板等修繕	1件	計 8 件

3月21日・審議事項

耐候性シートの設置（変更）	1件	
仮設備設置（変更）	1件	
蘭川堆積土除却及び		
護岸修繕事業（変更）	1件	
令和7年度重伝建補助事業	3件	
送電線の補修	1件	
配電線設備の保安伐採（変更）	2件	
家屋一部除却	1件	
樹木の枝払い	1件	
引込線撤去工事	1件	
群状択伐	5件	
筍伐採	1件	
観光案内看板の取替・新設	1件	計 19 件

合計 102 件

② 防災施設の点検の実施

宿場内にある消火栓の点検作業について、雨のため延期となり、年度末の3月25日に行った。総務委員会を中心に妻籠観光協会、南木曾町教育委員会と協働し、10名が参加した。1月26日の文化財防火デーは、「水消火器による初期消火訓練と南分署長の講話、防災講演会、宿泊客の避難誘導訓練」を計画した。前半は木曾消防署南分署職員と地元消防団員の指導による初期訓練と分署長に講話を行った。引き続き砂防ボランティアによる防災講演会と避難誘導訓練を行った。会場は妻籠町並み交流センターで51名の参加があった。

③ 全国町並みゼミへの参加

今年度の町並みゼミは10月26・27日に東京で開催され、理事長が参加した。全国町並み保存連盟50周年記念として創立三団体の想いと題し、有松・今井町と共に発言した。

④ 諏訪市で開催された「信州歴史的まちなみフォーラム 2024in 諏訪」に正副理事長が参加した。来年度開催予定の千曲市稲荷山においての打ち合わせに理事長が参加した。「信

州歴史的まちなみネットワーク」の会員でもある阿智村全村博物館協会主催で3月15日に開催された「こまんばまちづくりシンポジウム」に理事長が参加した。

(2) 建築物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- ① 「一石栃立場茶屋」建物の維持管理、及び近辺の草刈等を行った。無料休憩所として通年開放し、管理人を置き馬籠峠を歩く旅人を接待した。また、アンケート調査を行い、要望等を集計した。これをもとに次年度以降の観光客へ配慮したより快適な観光地づくりをめざしたい。一石栃立場茶屋の水源調査及び清掃を定期的に行い、安定した水の供給に努めた。囲炉裏で焚く薪の調達と薪割作業を定期的に行った。
- ② 「一石栃白木改番所」近辺の草刈、除草剤の散布及び子安観音への経路の草刈を行い、自然環境と景観整備のために植栽したイロハモミジの追加肥料等景観維持に努めた。
- ③ 「愛会尾又屋」を田立和紙紙漉き工房として活用している。
- ④ 「木犀庵」を風俗絵巻之行列の衣装管理のため定期的に使用している。行列当日は、「まつや」とともに着替え場所等に活用した。「まつや」については、定期的に利用希望者が使用している。また双方の周辺の草刈等を定期的に行い維持管理に努めた。
- ⑤ 「旧田原家」は妻籠宿案内人の会の勉強会、下町のサロン、老人クラブ等有効に活用することができた。
- ⑥ 所有する建物の維持管理と保存事業の継続と海外の観光客への公開目的のため、尾又の旧田口家を旅行会社の妻籠営業所として貸し出しを継続している。
- ⑦ 尾又の山森家取得に伴い空き家対策特別委員会を山森家で開催し、見学を兼ねて活用等について検討した。来年度以降も継続して活用について検討する予定である。

(3) 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- ① 妻籠城址の草刈、清掃作業、登山道の整備等維持管理に努めた。また、宿場内の水車小屋周辺、口留番所等の立木の枝払い等の作業を行い景観の維持管理に努めた。
- ② ホームページにて、活動報告、広報「妻籠宿」等情報発信に努めた。
- ③ 平成24年度元気づくり支援金事業において整備した古い農機具を、昨年度までにさらに充実し、一石栃立場茶屋でハイカーに「縄緬い」と「薪割」体験を継続して行うことができた。
- ④ 南木曾町・教育委員会・妻籠観光協会との妻籠宿看板検討グループに参加して、妻籠宿内の看板の整備・点検を行った。

(4) 文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- ① 広報「妻籠宿」を4回発行し、妻籠地区全区民に配布するとともに、関係機関・友好団体、空き家持ち主、希望者へ幅広く送付した。
- ② 保存開始より継続して開催してきた「文化文政風俗絵巻之行列」は、第57回を数え晴天の下、例年通り外部参加者も一緒に開催することができた。実行委員も含め143名が参加した。
- ③ 第47回「妻籠冬期大学講座」を2月1日に妻籠町並み交流センターで開催した。今回は、11月に急逝された前理事長の小林俊彦氏を偲ぶ会を行い、関係の深かった方々が集い、思い出話をしながら功績を振り返った。68名の聴講があった。この内容を基に追悼号を次年度4月に発行予定である。

- ④ 「妻籠宿案内人の会」の事務局及び学習会の支援等を行った。
- ⑤ 衣装管理部員を中心に、行列衣装の整理虫干し等を定期的に行うとともに、行列用衣装貸出準備と共に自主的な着付け練習を企画、行列当日は衣装部員を中心に早朝より出演者への着付を行った。
- ⑥ 本年度で19回目となる狼煙あげを広く木曽郡内にも呼び掛け、快晴のもと、南木曽町6か所を始め、北は塩尻市東地区から南は馬籠峠までの全17か所205名の参加があった。今後は木曽谷全体の狼煙リレーが課題項目となっている。

(5) 文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- ① 財団所有の尾又地区景観保護地にあるミツバツツジ・イロハモミジの追肥料、下草刈等の手入れを行い保護管理に努めた。
- ② 妻籠城址の登山道の環境整備に努めた。
- ③ 特定外来生物のオオキンケイギク・アレチウリ・オオハンゴンソウ・セイタカアワダチソウ等の除去作業を環境保全委員会が中心となり観光協会の若者及び愛友会の協力を得て行い、妻籠地区の環境整備に努めた。

(6) 重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託

- ① 町営駐車場の管理受託事業を継続し、公益事業に資することができた。また、利用者へのサービス向上を図ると共に、周辺の環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。
- ② 旧妻籠中学校の管理受託を行い、校舎内及び周辺の清掃と環境整備に努めた。
- ③ 文化財としての景観維持に努め、メディアによる撮影についてはその質を向上するため、撮影許可審議委員会において事前にチェックし、アドバイスをを行った。審議件数は25件だった。

(7) 関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- ① 木曽風景街道推進協議会総会が本年度は妻籠宿で開催され、妻籠からは6名参加した。令和3年度より藤原理事長が会長を務める。木曽風景街道推進協議会主催の中山道研修会に7名参加し、長和町の長久保宿と和田宿を見学した。8月に木曽町開田高原で開催された「外来植物駆除作業及び講習会」に2名が参加した。また、2月に上松町で行われたてんぐ巣病駆除作業に理事長が参加した。令和6年度地域づくりネットワーク木曽支部活動見学会が3月1日木曽町宮ノ越で行われ、理事長が参加した。

② その他の関係団体との交流

〈藤原義則理事長対応〉

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・(公社) 日本ナショナル・トラスト協会 | ・NPO 法人全国町並み保存連盟 |
| ・地域づくりネットワーク長野県協議会 | ・信州豊かな環境づくり県民会議 |
| ・木曽観光地域づくり戦略プロジェクト会議 | ・木曽谷狼煙あげ連絡会 |
| ・長野県インバウンド推進協議会 | ・信州歴史的まちなみネットワーク |
| ・日本遺産「木曽路」事業検証・検討委員会 | ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会 |

〈横山純常務理事対応〉

- ・妻籠宿保存地区審議会
- ・木曽路氷雪の灯祭り実行委員会

- ・妻籠観光協会
- ・南木曽町リニア中央新幹線対策協議会

(8) 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- ① 中央駐車場の経営・管理事業を継続し、マスク着用と手指消毒は継続しながら駐車場利用者へのサービス向上に努め、公益事業に資することができた。また、周辺の環境整備に心掛け、草刈・花植え等積極的に美化に努めた。利用客はコロナ禍前に戻りつつある。
- ② 「第42回南木曽町・妻籠健康マラソン」開催に協力し、大会の成功に寄与した。
- ③ テレビ撮影・書物での紹介等妻籠宿に適合した企画に対し協力と適切な指導を行った。
- ④ 第51回新春放談会を1月4日に開催し、町長以下15名の参加があった。
- ⑤ 南木曽町リニア中央新幹線対策協議会に理事長と常務理事が参加した。
- ⑥ 國學院大學観光まちづくり学部石山ゼミが9月6・7日に妻籠で合宿を行い、理事長はじめ、妻籠宿案内人の会による案内、役員との交流会などを行い、積極的に援助した。立教大学、長野県立大学の来宿に対し理事長が案内・講話を行った。大学生の卒論作成に関する援助も積極的に行った。
- ⑦ 地元旅行会社のボランティア活動を積極的に受け入れ、支援した。